

めあてをもって学ぶ子

相手のことを思いやる子

じょうぶな体をつくる子

『アウトプットする力を伸ばし 互いに認め励まし合える児童の育成』 (児童の目標) 根岸戦隊 かわるんジャー O!

「めあてをもって学ぶ子」の具現化に向けて

- ☆授業の充実
  - 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する指導の工夫・改善（校内研修と関連させて）

「相手のことを思いやる子」の具現化に向けて

- ☆特別活動の充実
  - 子どもの居場所づくり絆づくりを意識した学級活動、児童会活動、行事の充実

「じょうぶな体をつくる子」の具現化に向けて

- ☆体育的活動の充実
  - 粘り強く多様な運動に取り組める体づくりの推進

基礎的・基本的な知識・技能の定着

かわるんジャータイム（朝の活動）  
集会活動の充実

多様な運動をする場の充実

運営の重点

具体的な取組

☆個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する指導の工夫・改善（校内研修と関連させて）

- ① 問題解決的な学習を取り入れた授業づくり
- ② 他者を意識した、聴く・話す力を育てる指導の工夫
- ③ 1人1台端末を活用した授業づくり

☆基礎的・基本的な知識・技能の定着、学習に向かう姿勢(集中力・粘り強さ)の育成

- ① パワーアップ週間の実施
- ② 読書活動の充実
- ③ 朝の活動を活用した基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ④ 1人1台端末の活用
- ⑤ ねぎしっ子スタンダードの活用した基礎的な学習規律の定着

運営の重点

具体的な取組

☆子どもの居場所づくり絆づくりを意識した学級活動、児童会活動、行事の充実

- ① 相手のよさや努力を認め合い、互いを高め合う場を指導の工夫
- ② 自分の取組を振り返らせながら、自己有用感を高める指導の工夫
- ③ キャリア・パスポート等を活用した自己の成長を実感できる場の設定

☆日常生活における道徳的実践力の向上

- ① 道徳科の授業の充実
- ② 生活目標を重点化し、意識した取組と振り返りの充実（挨拶・返事・言葉遣い・規範意識）
- ③ 児童一人一人が自分のこととして受け止め主体的に行動できる心の育成

☆生徒指導の充実

- ① 心身の安全を守るため校外外で公共のルールやマナーを守る指導の工夫
- ② 相談カード・学校生活アンケート・教育相談週間を活用した児童の悩みや状況の把握
- ③ スクールカウンセラーとの連携

☆児童の安全に対する判断力・実践力の向上

- ① 「自分の命は自分で守る」意識を高め実践につながる訓練の実施
- ② 家庭と連携した防災ノートの活用

運営の重点

具体的な取組

☆粘り強く多様な運動に取り組める体づくりの推進

- ① 体育の時間を活用した全校共通の取組
- ② 朝の活動を活用した、多様な運動をする場の充実

☆健康な体をつくるための生活習慣改善の働きかけ

- ① 疾病治療向上のための働きかけの工夫
- ② 保健だよりを活用した、生活習慣改善の働きかけの充実
- ③ 外部講師や掲示物を活用した食育指導の実施

開かれた学校（信頼される学校）づくりの推進

- ☆J S、幼保こ小連携をはじめ家庭等との連携を図った基本的な生活習慣、学習習慣の確立
  - ◎参観日、行事、面談等を活用した連携強化と日常的な報告・連絡・相談体制の確立
  - ◎基本的生活習慣・学習習慣の共通した取組の推進（挨拶、家庭学習の約束、授業の心構え、ネットモラルの共有等）
- ☆地域密着型教育（コミュニティ・スクール推進事業）を通じた、学校・家庭・地域社会の信頼関係、緊密な連携・協働体制の構築
  - ◎アスネット根岸を生かした、総合的な学習の時間・生活科、特別活動等の中での地域に学ぶ活動の充実
  - ◎地域学校連絡協議会委員との情報共有、学校関係者評価に基づく学校改善
  - ◎各種便り、ブログ等の積極的な情報発信と子どもや地域に関わる情報収集・情報共有
  - ◎P T A活動の活性化と学校行事との連携

PDCAのマネジメントサイクルが機能する教育活動の推進  
～年間を通した大きなPDCAのマネジメントサイクルの中での小さなCAを大切にしながらより良いものを目指す取組～

☆「チーム根岸」として協働する学校運営

◎学校、家庭、地域が連携し、共に子どもを育てる「共育」の推進  
◎明確なねらいと具体的な手立ての確認、工夫、一手間、振り返り、そして改善

◎日常的な情報交換と全体での情報共有

☆細やかな教育課程の実施・管理及び評価・改善

◎課題意識をもち、解決への道筋を考え実践につなげる協働指導体制づくり（実施後、月ごと、学期ごと、年度末のCA）